

11月30日付当地トリブナ紙は、クリチバ市ビゴヒーリョ地区において空き巣窃盗事件が発生した旨報じているところ、概要を以下のとおり、お知らせ致します。

11月6日（火）夕方頃、クリチバ市ビゴヒーリョ地区パドレ・アンチエッタ通り（Rua Padre Anchieta）に所在するアパートにおいて住民が不在中の部屋を狙った空き巣窃盗事件が発生した。

犯人は女性2人組でアパート敷地内に入る際、門番（ポルタリア）には他の住居を訪れる虚偽の申告をした上で、玄関が開いていた該当住居へ侵入し、現金7千レアル及び10万レアル相当の宝石を窃盗し逃走した。

同アパートは1フロアに1世帯しか入居していない高級アパートで、フロアを貸し切っているため玄関の鍵をかけずに外出する住民も多く、警察では犯人が同情報を事前に入手していた可能性もあるとして門番が共犯の対象として捜査している由。

<当館からのお願い>

・今回の事件は住民の防犯意識の低下が招いた事件でもあると言えます。短時間の外出であっても確実に施錠して頂き、自宅内に現金や貴重品を保管する際は1箇所にまとめず、分散して保管することをお薦め致します。

また使用人（家政婦など）を雇用される場合は現金などの保管場所は絶対に教えたり、又は保管するところを見せたりしてはいけません。使用人が犯人ではなくても、情報が流れ犯罪者から狙われる危険性があります。

・万が一強盗被害にあわれた場合は、速やかに軍警察（Policia Militar、電話番号190）に一報するとともに、被害届を最寄りの文民警察（Policia Civil、電話番号197）に提出することが事件発生現場の巡回強化や捜査等にも繋がるため、非常に大切であるとのことです。

・また、被害拡大防止のため、在留邦人等の皆様と（個人情報をふせた上で）情報を共有するためにも、当館（担当：警備班・領事班）へご連絡いただければ幸いです。